

外国人児童・生徒の支援

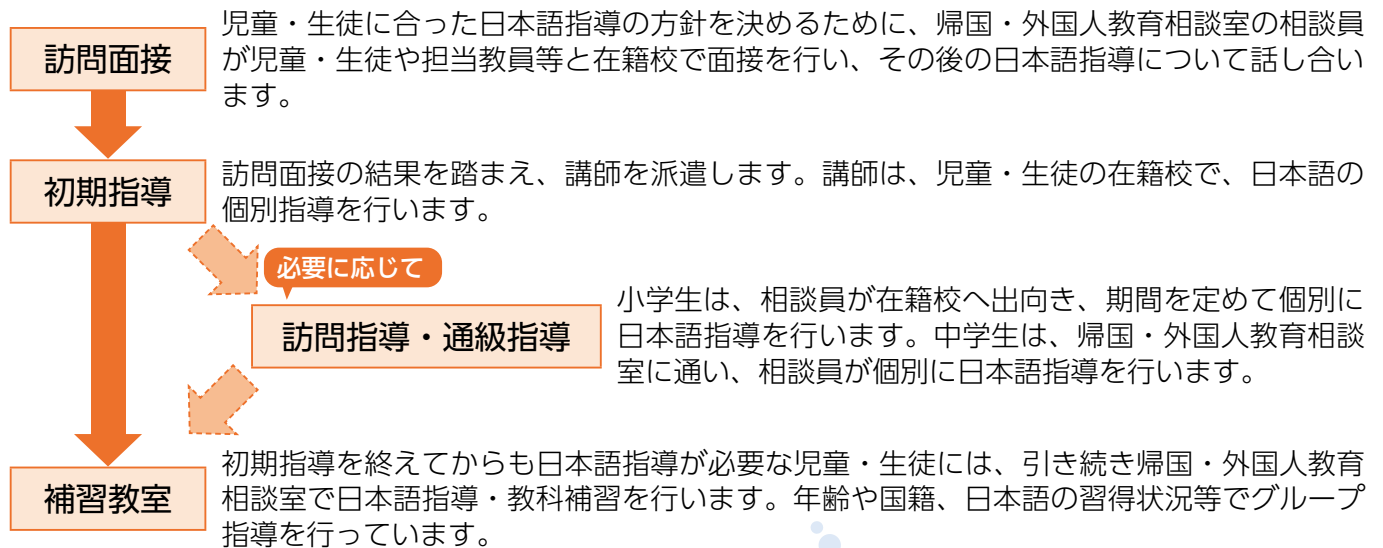
区内の外国人人口は年々増加しており、今後更なる外国人児童・生徒の増加が見込まれています。

「日本語がわからない」「日本の学校生活に不安がある」

このように感じている区立小・中学校の児童・生徒を支援するため、梅丘中学校に帰国・外国人教育相談室を設置し、様々な支援を行っています。

このたび、利用者の増加や通学の利便性を考慮し、令和8年(2026年)9月から「教育総合センター」でも新たに補習教室を開始します。令和9年度(2027年度)以降も、順次実施地域を広げていく予定です。

「帰国・外国人教育相談室」による日本語指導の流れ



同じ境遇や母国語の児童・生徒が学校を超えてつながることができるため安心して過ごせる場所となっています

掲載した流れは一つの例です
詳しくはこちらをご覧ください



問 学務課 TEL 5432-2683 FAX 5432-3067

インクルーシブ教育の推進

教育委員会では令和7年(2025年)3月に「せたがやインクルーシブ教育ガイドライン」を策定しました。全ての子どもが同じ場所で仲間としてともに学び、誰もが自分らしく学校生活を送ることのできる教育をめざし、様々な支援員が学校教育を支えています。

「インクルーシブ教育支援員」による支援

通常の学級に在籍する配慮を要する児童・生徒への学習参加等の支援として、小学校に2名、中学校に1名のインクルーシブ教育支援員を配置しています。令和8年度(2026年度)より、中学校は地域ごとに1名を新たに配置し、支援を強化していきます。

「エデュケーション・アシスタント」による支援

小学校第1学年の学級経営に伴う業務を補助する「エデュケーション・アシスタント」を小学校全校に配置し、学級担任の負担軽減を図ります。

問 教育指導課 TEL 5432-2706 FAX 5432-3041